## 東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑易しましょう!

NO. 35 2011. 4. 14 17:20 発 全日本民医連対策本部

Mail: taisaku-honbu@min-iren.gr.jp

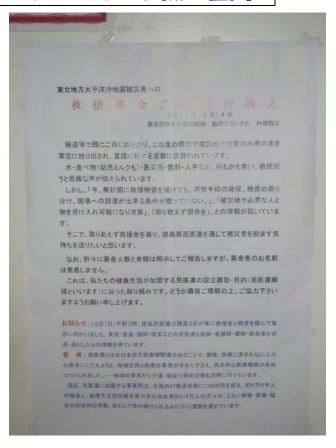
## [徳島発] 共同組織の皆さんが、我がことのように支援に奮闘!

徳島健康生協では、生協組合員の皆さんが自分のことのように支援に奮闘しています。

右の写真は、組合員理事が作成した義捐金の「訴え」です。 震災の翌日にはいち早く募金箱を用意し、その後、支援の様子 をニュースで知らせていると、このようなポスターを独自に作成 して患者に呼び掛けています。組合員理事さんが患者・組合員 に対して、「民医連」の理解も含めて訴えてくださっています。職 員はいたく感激しています。(「訴え」下部の「参考」のところをご覧下さい)



上の写真は、震災のすぐ後に組合員さんが、軽トラックを 病院に乗り付けて自主的に震災支援野菜販売カンパ活動に 奮闘しているところです。職員があわてて看板をつくりました。 (手書きの看板がステキです。)



組合員理事にも日々、県連ニュースと全日本ニュース・医療福祉連ニュースをFAXで届けています。義捐金お願いの郵便振り込み用紙を機関紙に折り込み、広く組合員に協力を呼び掛けています。

## <情報>

☆日本医師会は4月13日の定例記者会見で、東日本大震災の被災地への「日本医師会災害医療チームJMAT)」 の派遣について、5月末までに継続するかどうかを判断する方針を示しました。石井正三常任理事は「あくまで 被災県の意向を尊重した上で、復興の状況などを見ながら対応していく」と述べました。

(キャリアブレインニュース: http://www.cabrain.net/news/article/newsId/33631.html)

☆Rescue311 医療従事者による被災者向けメール医療相談(<a href="http://www.311er.jp/">http://www.311er.jp/</a>) 現地に行けなくてもできる支援を、と有志の医師が立ち上げました。発起人代表:椎原隆(群馬県立小児医療センター神経内科部長)

支援者到達(14 日現在): 2003 人(医師 319、薬剤師 117、看護師 571、技術系 386、事務他 610)

本日の支援者数は(移動含む)195人。延べ数は 9359人となりました!

支援募金到達:1億6800万円を超えました! ☆義捐金の使い途について、今月理事会で方針提起する予定です。

## ◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。

※4/15全日本民医連理事会で、今後の支援方針を決定します※